

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月14日

事業所名 放課後等デイサービスめばえひまわり

保護者等数(児童数) 22(22) 回収数 18 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1	0	1	夏場は室内の温度が高いようなので、エアコンで涼しくしてほしい。	→承知しました。現状として、換気対策を行っているため冷気が逃げてしまっているところもあります。設定温度は低めで調整いたします。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	1	全職員の専門性について覚えていない。	→専門性に関しては、今後ひまわり通信にて、職員の紹介時に、資格等をお知らせいたします。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	10	0	3	必要としている子どもには対応しているのでは。現状に不足が無ければOK。	→現状はOKです。状況により必要となった場合は、弊社は福祉用具レンタル事業も行っており対応可能です。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	0	学校の先生にいつも色々な場所に出かけていると感心される。子ども達が楽しみにしている活動は頻度が高くてたまわないと思う。季節行事を積極的に行っている。	→子どもたちにとって、新しい経験体験こそが成長の一步となると考えております。ありがとうございます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの子とも活動する機会があるか	0	2	13	3	本人のことを考えると重要には思わない。障害のない子どもとの活動はどのように進めるとよいのか、その方向性をどう考えるか。	→これは難しいところがあります。ただ公園等で、校区の児童と楽しそうに遊ぶ姿も見受けられています。ケース・バイ・ケースにて対応できればと思います。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0	0	卒後のことでパンフレットなどを用意してくれて助かる。	→私達にとっても、お子様の卒後が軌道に乗るよう支援できればと思います。ネットワークを広げていこうと思います。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	12	3		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	0	3	どのような苦情があり、どの対応がどう結びついたか等知らない。そもそも苦情はあるのでしょうか？	→あまり苦情は有りません。ただ、帰りの時に、例えば児童館のトラブルがあった、本人の調子が悪かったなどの、いつもとは違う変化が見られた場合、その都度お伝えしております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0	0		
	13	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	2	あまり拝見していないので次回から見ます。連絡帳で知る情報で活動がどんなだったか、がある程度分かる(個別)。個人的には十分。	→ブログ等または+メッセージにて、お子様の様子を不定期ですが送らせていただきます。またひまわり通信も不定期ですが発行できるようにいたします。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	16	1	0	1	注意していただいていると思っている。	→個人情報、ファイルに関しては鍵付きの書庫にて対応を行っています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1	0	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	3		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	0	とても楽しみにしている。家庭と同じくらい安心してやっている。	→ありがとうございます。ひまわりの場所が、お子様にとって心穏やかに過ごせる場であるよう努めていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	17	1	0	0	満足している。子どものペースに合わせつつも、グループ活動にうまく誘導してもらいたい。	→ありがとうございます。活動内容等は、発達段階に応じた活動を合わせながら行っていきたいと思っています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月14日

事業所名 放課後等デイサービスめばえひまわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8	0	静養室・指導訓練室・学習室と3 区画に分かれており、適切であ ると考える。	
	2	職員の配置数は適切である	4	4	定員数と職員数を照らし合わせ て、安全に活動できるよう努めて いる。	職員数が昨年度より減少しており、定員数を超える場合また安全にお子様を見れ ないと思われた時は、利用のお断りをするがあった。求人媒体等にて職員を集 めようとする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	0	8	→	現在、肢体不自由児の利用はないが、今後検討していく。ただ、賃貸物件で活動 を行っているため、バリアフリーに関しては難しい面もある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	5	3	今年度から、ひまわり全職員で、 私達の支援に対する復元を見つ め直すため、目標設定を含めて 話し合いを行っている。	管理者が昨年より交代となり、PDCAサイクルに関し、見直しを行っている状況で ある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8	0	保護者アンケートを年1回実施し ている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8	0	自己評価に関して、ホームペ ージのお知らせ欄に掲載してい る。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	0	→	現在検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	8	0	2023年度は、生活困窮家庭に対 する支援策の研修を福岡市の出 前講座にて依頼し実施した。	
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	契約時にアセスメントを取り、子 どもの実態に応じた活動、及び 計画を作成して、共有している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	8	0	状況の把握のために、 簡易がよいよう、職員共通理解 のための、システムを導入してい る。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	→	管理者が変わり、立案に関しては基本正職員で行っているが、全職員での対応を 行ったほうが、良いアイデアが生まれる可能性があるため、今後は、全職員でのプ ログラム調査を行っていききたいと思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	8	0	活動内容に関しては、調理活 動・外出活動・制作活動等、楽し める経験になるプログラムを提 供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8	0	平日は基本余暇中心の活動で はあるが、休日・長期休暇中に 体験を通じた課題の提供を行っ ている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8	0	基本は「個」の視点から、活動を 支援を行っており、集団になる時 に全員が何らかの活動に参加 できるよう計画を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	8	0	朝礼時、振り返りを行い、全職員 が揃う昼に短時間の打ち合わせ を行い、その日の流れの確認を 行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	8	0	朝礼時に前日の振り返りを行 い、その時の状況を把握するた め、ノートに記載、またグループ メッセージを用いて、共通理解 の促しを実行している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	保護者に対しては連絡帳を記載 しており職員振り返りノートを用 いて、検証・改善を週及び月ミー ティングに行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	8	0	6ヶ月に一度実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	8	0	ガイドラインに沿った内容を軸に 支援を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校及び保護者より、下校時間の確認を行っており、何かしらのトラブルが発生した場合は、職員共通アプリにて把握している。年1度(4月)児童在籍学校に利用児童一覧を、送付している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	未回答	未回答	→	現在医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	児童に関して保護者の同意のもと、児童発達支援事業所に連絡を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	本年度は利用児童で卒業する人はいないが、利用児童の中に転校する子がおり、そのお子さんに対しては引き継ぎ資料を作成している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	8	→	現在児童発達支援センターとの交流の機会は、就学前の児童引き継ぎの際だけであるが、今後福祉専門機関主催の研修に参加し、気づきや発見を得たいと思っている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8	→	現在行事活動として、障害のない子どもたちとの接する機会は設けていない。ただ、児童会や、近隣公園で遊ぶ際に、校区の児童と接する機会はある。このことについては、保護者の理解、周りの理解、本人の理解等一筋縄には行かないとも有り、検討課題である。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	8	→	現在地域自立支援協議会への参画はしておらず、今後検討していきたいと思っている。またその協議会で児童部門が主催する活動にに参加していきたいと思う。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	この点においては、送迎時及び、電話でお子様の状況を伝えるようにしている。またグループメッセージ等を利用し、画像を添付し見える化を行っている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	ペアレント・トレーニングにおいては、対象となる児童が何か悩みを抱え、一筋縄には行かない時に、この子の心理的背景を保護者と話し合い、客観的に伝えていく。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に説明を行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	基本児童発達支援管理責任者が担当しており、助言・支援を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	→	以前は、一室を借りて、めばえ合同餅つき大会を行っていたが、コロナ禍ということもあり開催を控えていた。この頃感じているのは、保護者に寄り添う気持ちや、支援者側のアプローチも必要だが、当事者間での話し合いや共感も必要と思われる。実施できるよう検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	保護者等の苦情に対し、児童館が軸となり、対応を行っている。日頃、お子さんの様子、また事前に活動に関しての意向を把握、また事業所として対応できる点とできない点について明確化を意識している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	ブログ、または保護者との+メッセージアプリにて、お子様の状況や何が嬉しい、楽しいかを理解が得られるよう発信している。	
	35 個人情報に十分注意している	8	0	個人ファイル等は鍵付き書庫にて保管している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	保護者連絡は+メッセージを利用している。活動予定表等お配りしており、お子様の状況を職員が共有しやすく環境設定を行っている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	→	現在は、交流の場を設けてはいないが、地域に根ざした事業所となる目的を持ち、近隣清掃等を行いたいと思っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	各マニュアルを作成している。また保護者においては、避難先一覧及び受診する可能性がある病院一覧を個別に作成しお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	年2回、水害を伴う訓練と、地震を想定した避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止に関する研修及び、委員会を発足しており、状況の把握、対応の方法・振り返りを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	現在対象になっている児童はいないが、身体拘束適正化委員会等で、話し合い、計画を立てていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	指示書にて対応中である。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハット事例集を、保管している。	